尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第8号 (H25.8.19発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む 「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

第5回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

◆「さくらおろちを活性化する会」として最後の提案を行いました。

「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」に対し、水源地域の活性化に向けた具体 的な取組(プロジェクト)に関する意見・提案を行うため、平成24年10月23日に設立 された「さくらおろちを活性化する会」の最終会議が開催されました。

「さくらおろちを活性化する会」は、これまで4回開催し、基本理念、地域の目標像、 基本方針、また、それを踏まえた具体的な取組プロジェクト、その優先順位、先行プロ ジェクトの内容や役割分担などについて討議を行い、平成25年3月に開催された「第 3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」において承認・決定されました。

「第5回さくらおろちを活性化する会」では、これまでの討議内容をとりまとめた水

源地域ビジョンの冊子の表紙イメージと サブタイトル、策定後の推進体制等につ いて意見交換を行いました。

日時 :平成25年8月5日(月) 19時00分~21時00分

場所 :国土交通省尾原ダム管理支所

参加者:15名

	開催日	討議内容
第1回	10月23日	・水源地域ビジョンの説明 ・『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の説明 ・基本理念、地域の目標像、基本方針の事務局案の説明 ・守りたい資源、活かしたい資源、プロジェクトの抽出 (3 班で討議)
第2回	11月15日	・プロジェクトの追加抽出及び確認 ・プロジェクトの体系化(案)の提示 ・プロジェクトの内容の整理(案)の提示
第3回	12月12日	・プロジェクト内用(全体)の決定・プロジェクトの優先順位づけ・先行プロジェクトの選定及び決定・先行プロジェクトのとりまとめフォーマットの確認
第4回	2月6日	・先行プロジェクトのとりまとめ(内容、実施項目、役割分担) ・湖面利用の手引き(案)の説明
第5回	8月5日	・水源地域ビジョン冊子(表紙イメージ、サブタイトル等)の決定・推進体制の説明・水源地域ビジョン冊子(抜粋版)の提示

▶水源地域ビジョンの冊子イメージを共有しました。

今回作成する尾原ダム水源地域ビジョンの冊子は、『第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会』で承認い ただいた目次構成をもとに、これまで『さくらおろちを活性化する会』で討議され、『尾原ダム水源地域ビジョン策 定委員会』で審議・承認いただいた水源地域ビジョンの基本理念、地域の目標像、基本方針や、プロジェクトの内 容などをとりまとめます。



尾原ダム水源地域ビジョンの冊子の表紙にあたっては、事前に「さくらおろちを活性化する会」の参加メンバーに対して①表紙のデザイン(イメージ)、② サブタイトル、③表紙の使用写真のイメージをアンケート調査しました(アンケート調査期間:7月12日~7月24日、回収数:20名)。」

「第5回さくらおろちを活性化する会」では、アンケート調査の結果をもとに、①表紙のデザイン(イメージ)、②サブタイトルについて意見交換を行いまし た。さらに、水源地域ビジョンの主要なページを抜粋した冊子(案)を提示し、冊子の方向性についての意見交換も行いました。

「表紙のデザイン(イメージ)」は、尾原ダムの写真のみを配置したシンプルな表紙デザイン案に対して、多くの賛同をいただきました。「サブタイトル」は、3 つの基本方針を基にした案「つなげよう、育てよう、活かそう"さくらおろち湖"」に対して、多くの賛同をいただきました。「水源地域ビジョン(抜粋版)」は、わか りやすく、写真を多く使う事に対して、賛同をいただきました。

「第5回さくらおろちを活性化する会」での討議結果を踏まえた「水源地域ビジョンの冊子(事務局案)」を作成し、来る9月に開催予定の「第4回尾原ダム水 源地域ビジョン策定委員会(最終委員会)」で審議・承認いただき、「尾原ダム水源地域ビジョン」を策定する予定です。

水源地域ビジョンの推進に向けた想いを語り合いました。

参加者の皆様の尾原ダム水源地域ビジョンの推進に向けた想いを語り、地域活性化に向けた意見交換を行いました。

【主な意見・提案】

- ・10年間という推進期間で各プロジェクトを成功させていくことに、漠然とした難しさを感じている。ダム周辺地域に「また来たい」という人が増えてくれれば よいと思う。
- ・さくらおろちを活性化する会で培ったノウハウを活かして、地域振興につなげていきたい。
- ・地元では、地域活性化についてはあまり考えられていないように思う。しかし、やらなければならないことはきちんと、この先も継続してやっていくことが大 切である。
- ・プロジェクトに参加するメンバーの変化に対応するためにも人材育成をしっかり行い、10年後をイメージしながら、地域活性化の成功につなげたい。
- ・ダムを1つの素材として、子ども達が地域に残り地域活性化につながるように活用していただきたい。



約1年間にわたり「さくらおろちを活性化する会」にご参加いただき、ありがとうございました。皆さんの活発な討議に よって内容の濃いプロジェクトをとりまとめることができました。水源地域ビジョン策定後は、推進に向けた取組への ご協力をよろしくお願いします。

・雲南市 ダム対策課

•島根県 斐伊川神戸川対策課

【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局 ・奥出雲町 地域振興課

•島根県 雲南県土整備事務所

•国土交通省 出雲河川事務所管理第二課



尾原ダムキャラクター「すさのおくん」